

みどりの丘に

豊かな心で力いっぱいやりぬく尾崎の子

みどりの丘に なかまが集う

校長 西野 美佳

早いもので令和4年度も終わりを迎えます。今年度も保護者の皆様、地域の皆様には多くのお力添えをいただき、誠にありがとうございました。皆様方の支えのおかげで、子供たちも私たち教職員も安心して楽しい学校生活を送ることができました。先日3月19日（日）には、保護者の方や子供たち、地域の方50名以上の方にお集まりいただき、運動場のグラウンド整備と側溝掃除を行っていただきました。体



を動かしていると暑く感じられるほどの良い天気の日でした。側溝の蓋を開けてみると溝にはかなりの砂が入っており、その砂を溝から出して運動場の土が少なくなっているところへ運ぶという作業でした。「筋トレと思えば大丈夫だよ。」と話されながら、汗を流して作業をしてくださるお姿には、本当に頭の下がる思いでいっぱいでした。参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。思い返してみると、今回の作業のように、いつも皆様方に支えられて尾崎小の教育活動は進んできたことを実感しています。なお、次回の運動場整備を、来年度の運動会前に作業を予定して下さるとお聞きしました。次回も、どうぞご協力をお願いいたします。



卒業を控えた6年生が先日、学校へご寄付いただいた桜の苗木を植樹しました。卒業記念というだけでなく、今後の在校生や地域のこと、そして日本の花見文化の継承についてまで考える姿は、校歌にある「大きく生きる尾崎の子」の姿の具体、そのものでした。「やってみよう」「やってよかった」を合言葉に今年度の教育活動を進めてきました。私たちだけでなく、多くの皆様が尾崎小の「みどりの丘に」集まっていたいただき、皆様の「やってみよう」を実践していただいたおかげで、素晴らしい1年となりました。令和5年度もよろしくお願いたします。